

# PRO-LIFE

中絶に反対する運動

2001年7月 No.129

胎児を守る運動

## 胎児の人権宣言

### 前文

人間はひとりひとりが、受精の瞬間から自然死にいたるまで、生来の尊厳と固有の価値を有するので、今日我々は公けに以下の六ヶ条の宣言に同意する。

### 第一条

我々は、胎児ひとりひとりが、受精以後の発育のすべての段階において、人間であるという科学的事実を確認する。

### 第二条

我々は、本宣言に定められている権利を、人種、胎児年齢、性別、国籍、宗教、社会・経済的出自（生まれ）、障害の有無、その他のいかなる理由によっても差別することなく、尊重する。

### 第三条

我々は、胎児が、1948年の国連の人権宣言に述べられている胎児以外のすべての人間の基本的権利と同様の権利を有することを確認する。我々は、この権利が立法によって認められることを要求する。

### 第四条

我々は、胎児ひとりひとりが良好な胎内環境で発育する権利を有することを認める。この環境には出産までの母親の適切な保護と両親への支援を求める権利が含まなければならない。

### 第五条

胎児が、受精の時から、科学的、医学的、または医学外的実験や利用に供されない権利を有することを確認する。ただし、この実験や利用が胎児に直接役立つ場合を除く。

### 第六条

我々は、胎児の発育とそれに関する諸問題についての科学的事実の教育の推進に努める。また我々は、女性が子どもを産み育てるのを難かしくしている社会的、経済的ならびに法律的諸条件の改善に努める。

### 結び

以上にかんがみ、我々はすべての国際団体、政府、組織、ならびにすべての善意の人々が、ここに含まれる各箇条を公認し、実行するように強く奨める。

1991 東京

七月十三日は 日本 の生命尊重の日です

# 希望の大地

## 託された息子

マーガレットフレミングがシカゴの養子縁組紹介所からパティ・アングリンの所へ電話をした時、彼女は絶望的でした。「男の赤ちゃんよ、パティ、そして彼の両親は彼を殺す計画を立てています。」

マーガレットが話続けるのを聞いてパティは啞然としました。「彼の両親はナイジェリア人で、彼は両腕先と両ひざ下がない状態で産まれました。彼が産まれた後、看護婦は子どもの父親が妻に、その赤ちゃんは死ななければならぬ」と話していたのを耳にしました。」

パティは、マーガレットが詳細を語るのを聞きながら言葉を失いました。看護婦が言うように、出生時に深刻な欠陥がある場合凶兆だと考えて赤ちゃんを葬るといふ部族の習慣から、両親はほんとうに赤ちゃんを殺そうとしているのか疑問に思いました。彼女

は両親に、アメリカではそのような行動は殺人になると説明し、その子どもを養子縁組に引き渡すよう説得しました。

「この赤ちゃんを進んで養子にしてくれる人を誰か知りませんか？」マーガレットは尋ねました。パティの心は踊りました。直感的に彼女は反応しました。「マーガレット、私達は私の息子について話していた所です。」

ちょうどそこへハロルドが入って来てたので、パティは夫を振り返って言いました。「あなた、私達の男の赤ちゃんがたった今シカゴで産まれましたよ。」

## 国際連合のような家族

ハロルドは「やっぱり、またか。」というような当惑した表情で妻を見ました。

パティとハロルド夫妻の大きな性格は、7才から15才の彼ら自身の子どもと、8人の特別な世話が必要な養子と

して迎えた子ども達がいるという驚くべき家族構成とは少し、矛盾するようにも思われます。家族はヒスパニックとインディアンとアフリカとアフリカン・アメリカンの子ども達で構成されたまるで小さな国際連合の様です。

厳密に言うと、最初から、アングリン家は平均的な家族とは違っていました。お母さんお父さん、そしてお父さんのつれ子が4人とお母さんのつれ子が2人という2組の子ども達でした。そして、やがて、7人目の子どもを迎えることになります。パティとハロルドが出会った時、彼ら共通の家族愛は大きな魅力の一つでした。そして、それは圧倒的な世話が必要とする子どもへの愛と同じものでした。彼らは「欠陥のある赤ちゃん」や、薬中毒やアルコール中毒の子ども達を専門とし、ある子どもは青少年の拘置所が必要な年齢に達していない母親から産まれていたり、ある子ども

は、生涯特別な世話が必要とする可能性が高い先天的障害を持って産まれていたりします。お互いの思いがけない出会いから、彼らは、これら子ども達の人生をより良く変えようと、より決心を固めるようになりました。

アングリン夫妻は誰も欲し

がらないその子どもを養子縁組することを決めました。

彼らの初めての養子縁組は虐待のあった、アル中患者のいる家庭から来た小さな少年でした。次はゴミ箱の中で凍死しそうになっていたコカイン中毒の早産の赤ちゃんでした。マザーテレサのシスター



の慈悲によってカルカッタの貧民街から救出された小さなアリは、アメリカに移されアングリン夫妻が養子として引き取りました。そして瀕死の状態だった小さなナイジェリア人ザカリーは、今は永久的にアングリン一家のメンバーです。

8人の養子の子ども達は皆、将来にも影響を及ぼすほどの苦痛、虐待、無視そして事によると死にも直面していました。しかし、神はよりよい計画を立てられており、アングリン夫妻は彼らの人生において劇的な変化をもたらしました。

## 導かれた新しい家

一九九二年、ハロルドは早めに退職する事を考えていた時、パティはウイスコンシン州北部にいる妹を訪れました。田舎道を車で走っていると、一つの農場がパティの注意を



ひきました。そして、彼女は思いを巡らしました。「もし、私達がこのような農場を買うことができたなら、私はハロルドに進んで退職するように言うでしょう。」とパティが言う時、「ええ、でも彼らは売らないでしょう。あの農場は何世代にも渡つてこの家族のものだから。」田舎風の丸太の家に近づきながら、彼女の妹は言いました。車を止めて、パティは車を降り、木を切っている農夫の所へ行きました。

「私達はあなたの美しい農場を褒めていたんですよ。」彼女は言いました。年老いた男は強いスカンジナビアなまりがあり、大きく微笑んで、彼女達に見学がしたいかどうか尋ねました。その後、彼は彼女達をコーヒーに招待し、農家や彼の家族の写真を見せました。パティはためらいがちに尋ねました。「売りに出すことをお考えにはなっていないでしょうね。」

彼は真面目に考え込んだ後、肯定的に頷きました。

「本当に？」パティは興奮して、そして真剣に尋ねました。そして、金額を計算しました。二百エーカーの第一級の農場

は多分私達が払える以上の値段がするでしょう。彼女の顔色は曇りました。

「あなたはあまり興味が無いのですか？」彼は尋ねました。「いいえ、あります。」パティははっきりと答えました。「しかし、私達に買えるかどうかは不確かです。いくらで売り払う予定ですか？」

「いくらで買う予定ですか？」そして、彼は農場を売ったのです。

家まで車で帰りながら、現実にはぶつかりました。彼らはお金を持っていなかったため、彼らの古い家を売り払う必要がありました。しかし、彼女は神がその農場を与えて下さったと感じ、次も神がその農場を獲得するための道を見つけて下さると感じていました。

それで彼女は地元銀行の役員に話を持ちかけて、家族や財政について話し、その農場をどれだけ欲しいのか話しました。その銀行の役員は考えこみました。しかし、すぐに奇跡的にも貸し付けを承諾しました。「この社会はあなたたちのような人がもつと必要です。」と彼は説明しました。

初めて家族で農場の小道に

車が入って行った時、パティの目は涙でいっぱいになり、心の中で祈りました。「神様、この農場は子ども達のものになるうとしています。この上地はあなたが私に下さった理想郷です。ここは安全な安息所です。希望の場所、希望の大地です。」

たくさんの人々は、どうして特別な世話が必要な子ども達をそんなにたくさん養子にするのかとパティとハロルドに尋ねました。彼らの答えは簡単です。「それは、必要だからさ。」そして、アングリン夫妻と共にそこには希望が、何エーカーもの希望があります。

ジョー・ムッサー

## 意図的に人のいのちを奪う

現在、日本で安楽死、すなわち意図的に人のいのちを奪うことは法的に認められていない。しかし、安楽死についての議論は盛んである。カトリック信者として、また社会の一員として、この問題に慎重に取り組まなくてはならない。もし、患者の同意や要請に応じて医師は人殺しの片棒をかつぐことを許されたとしたら。そうした状況下では次の三点が予想される。

1. 安楽死の合法化で看護、治療がおざなりになる。癌やエイズに冒された場合の治療や、痛み緩和(ペインコントロール)やホスピスの役割向上への意欲喪失につながる。

2. 患者と医師の関係に亀裂が生じる。元来治療者で救済者でもある医師に患者は頼ってきたが、この信頼関係が崩壊するだろう。

3. 死を望んでいない人を殺すことを強要しかねない。貧しい、高齢の、障害をもつ患者が死の注射を無理やり「選択」させられたり、金銭面で追い込まれ、いのちを捨てるしかなくなるかもしれない。

いったん安楽死が合法化されたら、すべての人間が危険にさらされる。例えば、うつ病や高齢者、心身症やアルツハイマー症に悩む大人達、精神障害や瀕死状態の子ども達など。もはや誰ひとり安全と言えなくなるだろう。全国どこにいても高水準の治療が受けられる体制をとってきた日本の医師達に、今後患者ひとりひとりに質の高い治療を施す努力を続けて欲しいと望む。

日本に住む人々はみな生存権・自由・幸福の追求、この三つの権利がある。ゆえに医療機関は高水準の治療体制を保ち、人を殺すの手に貸そうと「選択する」権利をもつ者はいないと自覚してほしい。

(ノボトニー・ジェリー)

# もう一度と

この物語は、私が19歳のときから始まります。私は両親の家から独立し、ボーイフレンドとも別れたばかりでした。とても自由を感じていました。

た！夜自分の家まで送ってくれる人となら、誰であつても、みんなと出掛けるようになりました。すぐに、私は自分が妊娠していることを知りました。

でも、「自分だけの場所」に住んでいたため、その時は絶対に赤ちゃんは欲しくありませんでした。私は羽目を外し、パーティー三昧したりすることを大いに楽しんでいたので、赤ちゃんを産む余裕もなかったし、欲しくもありませんでした。

2人の女友達にのみこの話をし、他の人には誰にもしませんでした。自分が遊び回っていたことを誰にも知られなくなつたので、絶対に他の誰にも妊娠していることを言いませんでした。このような「状況」の下、二人の「友人達」は、中絶をするべきだと考え

ました。私は彼女たちの言うことを聞き、その通りにしました。

その時、私は中絶が良いとか悪いとか考えませんでした。実際、私は大して考えなかつたのです。合法的だったので、大丈夫なはずだと判断したのです。

私は中絶診療所の中へ、歩いて入つたのを覚えていません。誰も他の人のことを見ていなかったし、笑顔もなく、ただ、悩みを打ち明ける人が誰もいない、たくさんの怯えた女の子たちがいました。何人かの女の子たちは、おそらく精神的サポートのためだと思われ

ますが、ボーイフレンドと一緒に来ていました。私は、誰にも妊娠していることを知られなくなつたため、一人で行きました。

用紙だったのか知る由もありません。「診療所」の奥に入る前に、三百五十ドルを持っていくことを確認されました。私は、自分が誤つた方向に導かれたと感じました。なぜなら、「カウンセリング」で医者たちは私自身のことやお腹の赤ちゃんのことを全く聞きもしなかつたからです。彼らは、いかに中絶が「安全で痛みを伴わない」もので、せいぜい「生理痛のように感じる」くらいだと言いました。まったく、何という欺きの言葉を彼らは使つたのでしょうか。もし、あるとき私が今知っていることを知っていたならと思つてなりません。

私の名前が、やつと手術のために呼ばれました。廊下を歩きながら、その道のりがわずか数メートルしかなかったにも関わらず、何マイルにも感じました。部屋の中に入り、「看護婦」は衣服を全て脱ぎ、ガウンに着替えるように言いました。しばらくして彼女は戻つてきて、私にテーブルの上に乗せ、両足をあぐみ型の台の上に乗せ、そうしたらすぐに「医者」が来ると言いました。

私には医者が時間をかけたように思いましたが、彼は次第に入つてきました。彼は何かの注射を私に打ちましたが、それが何かは教えてくれませんでした。その注射は全く痛みを和らげてはくれなかつたのです！そして痛みが始まりました。その痛みを言葉で表すことはできません。それは耐え難く、出産の十倍もひどいものでした。私は吸引機がつかれていくつばに流れる、ぼたぼたという音を覚えています。それはきつとバラバラになつた私の赤ちゃんだつたのでしょうか。

全てが終わつた後、私は座り、未だかつて見たことのないほどの大量の血を見たのを覚えています。なんてめちゃくちゃな！彼らは私を綺麗にし、服を着るようには言いました、全く手伝つてもくれずに。私はかろうじて立ち上がれるような状態でした。看護婦は生理用ナプキンの装着では手伝つてくれましたが、それだけでした。彼らは、しばらく横になつても良いと言い、帰る時間になつたら看護婦が呼びに来てくれると言いました。しかし、ほんのわずかな時間しか居させてもらえず、彼らは私を追い出しました。全てが多忙、多忙、多忙！私がかろうじて歩ける状態でしたが、どうにか自分の車までたどり着き、しばらく座っていました。家に向かつて運転している間中、痛みがひどかつたのを覚えていません。私は、何故彼らがこれだけひどく苦痛を伴うということを教えてくれなかつたのか悩み続けました。私は家に帰り、すぐに眠りました。それは金曜日のこと、土曜日から日曜日にかけて眠り続けました。私は本当に疲れていました。その時、私はこれから先、二度と中絶をしな

いと思いました。

数日後、私は今結婚している相手とつき合い始めました。彼は私が中絶をしたばかりだということを知りませんでした。私は自分自身と彼に、結婚するまでセックスはしないと誓いました。その誓いを約二ヶ月ほど守り、再びセックスをした最初の時に私はまた妊娠しました。私のボーイフレンドはまた中絶をすることをお勧めしましたが、私は「絶対にいや」と言いました。私たちはそれから五ヶ月後に結婚し、

私たちの娘はそれからしばらくして産まれました。

娘の誕生後、私は何故彼女の泣き声自分が分りませんでさせるのかが分りませんでした。彼女はとても美しい赤ちゃんで、空腹の時以外は泣かず、一度「駄目」だと言われた物には二度と触らず、とても穏やかな個性の持ち主でした。その時私はまだ気づかなかったのですが、私が失った最初の赤ちゃんが一生できないことをこの娘が全てできるが故に、私は彼女を嫌っていたのです。もっと早くにこのことに気づけていたらと思います。

やがて、私はひどく飲むよつになり、アルコール中毒になりました。最終的に、私は必死になり、私の知っている最も素晴らしい男性であるイース・キリストに私の人生を引き返せました。そして、全てが変化し始めました。

私は飲酒とたばこを止めました。そして、二人目の赤ちゃん、息子を授かりました。彼は私たちにとって何という神の恵みだったでしょう。彼は私たちの最初の赤ちゃんとは正反対でした。全てにおいて、私

の言うことに耳を貸さず、言うことを守りませんでした。でもそれでも良かったので

す。私は彼を愛し、彼の親であることが素晴らしい喜びとなりました。

私たちの結婚当初の四年間は、全てが不安定でした。しばらくの間別居していましたが、次第に全てが良くなり、再び一緒にになりました。

私は自分の子宮管を接合する決心をしました。しかし、手術の二週間後、私は妊娠したと感じました。そしてその通りでした。夫は私に中絶をするように主張したので、私はようやく中絶したときの最初の経験を話しました。それでも彼は中絶するように要求しましたが、「いや！」と言いつつ続きました。私は、あのときの中絶とは向き合いたくなくなつたため、そのときのこと

はあまり考えていませんでした。しかし、それは心の奥底にあって、表面に出ているのを待っていました。やがて、私たちの三人目の赤ちゃんは、健康的で可愛い赤ちゃんに産まれました。

そして、一九八二年十一月、私はただ黙って他の人たちが

私のように中絶によって傷つけられるのを見るのではなく、何かをしなくてはいけないと考えました。そして、中絶反対運動に参加したので。

私が他の人たちの手助けをする前に、私自身が取り組まなければならぬ、いろいろな感情がありました。私に電話番号を教えてください。過去の怒り、私の過去に犯した過ちへの自分自身に対する苦しみと嫌悪への怒り。このような感情に対する私の苦痛と悲しみは、他の女性の経験したことで、そのことを神に感謝します。私の最初の娘に対するひどい怒りの気持ちも乗り越えることができました。今は、どの生きている赤ちゃんに対しても怒りをコントロールできるようになりました。これら全てのために、神を讃えます。なぜなら神の力なくして、私は日々を送ることはできなかつたでしょう。

シンディー・ハンドリックソン



## いやしに参加する

妊娠中絶の件数が世界中で増えると同時に、傷ついた女性の数も増す一方です。

妊婦にとつて、自分のおなかの中にいる子どもを殺す目的のためだけにいる医師を見ているのはどんなに恐ろしいことでしょうか。医者はマスクをかぶつていて、母親も麻酔のせい

で意識が朦朧としているでしょうが、それでも彼女は自分が何のためにそこにいるのかを知りながら、ことを見守っているのです。たつた一人でおびえながら。

ところであなたは、ある一日で会つたり話したりする女性の中で、どれほどの人が過去に中絶をした経験があるかしらなど、考えたことがあるでしょうか。「そんな人はいない。」「あまりいない。」「と答えるかもしれない。でも考えてごらん下さい！スーパー・マーケットやデパート、あるいは友達とレストランにでも

出かけたときに見回してみると、一歩外に出てみると少な

くともそこに十人に一人の可能性で中絶経験のある女性に出くわすはずですよ。彼女達は傷を癒すための治療を必要とし、罪を許してもらうことを願ひ、これからの人生を前向きに生きていきたいと考えている人達です。

けがをして針で傷口を縫つたことがありますか。痛みは伴うけれど、適切な処置で傷は治り、痕が残つても傷口そのものは消えてなくなります。友情が壊れた場合の話などを友達としたことがあるでしょうか。それも痛みや苦しみが

伴いますが、愛情や謙遜や話し合いといった適切な処置をとることで友情を元通りにし、それを更に深めることもできます。妊娠中絶は、中絶を行つた女性にとつてはこのけがの傷口や壊れた友情と同じなのです。傷つくのも事実ですが、時と愛情と寛容によって女性

はいやされるのです。

私達のように生命保護を訴

える人間は、妊娠中絶をしたことによって、感情的、肉体的打撃を受けている女性達のいやしに積極的にかかわっていかねばなりません。まず自分達の地域社会で中絶後にカウンセリングを受けられるように働きかける必要があります。自分の子どもを死なせてしまった母親は、自分の子どもを死なせてしまった母親と同じ程、言葉にあらわすことのできない悲しみを味わっているでしょう。でも我が子を失った女性をどうすれば慰めることができるでしょうか。あまりにも深い悲しみを癒すことができるのは、私達の救い主であるイエス・キリストが私達一人一人のためにいのちを絶つて下さったこと、神の許しには限界がないこと、そして神の許しを拒否することは神の愛を拒否することになる、ということを知ることで以外にないのです。どんな罪も神に許されないものはないし、どんな深い痛みも神に治すことができるものはないのだから。神が妊娠中絶によって傷ついた女性を救って下さるように祈りましょう。中絶という暗闇に陥ってしまった女性に光を、悲しみや哀れみで一杯の女性に愛を与えて下さるように。

モリー・ケリー

# 社会の授業で行った

## 中絶討論会

この間の水曜日の社会の時間に、クラスでいくつかのグループに分かれて、中絶について討論することになりました。私のグループでは、中絶反対派は私一人

だったので、非難の総攻撃に合いました。私が妊娠九ヶ月でも中絶が法的に許されている点を挙げた時、非難の声は敵意に満ちた不信の声に変わりました。授業の終わりに、各グループの書記が討論会の要点を発表しました。私達のグループでは私の言った「妊娠九ヶ月でも中絶は許されている」という意見を報告しました。クラス全体があっという間にささやき声でいっぱいになりました。すると先生が、それは何かの間違いだと言いました。その日、家に帰ると、私はあるプロ・ライフ協会に電話し、この出来事を話しました。同時に、妊娠九ヶ月でもまた中絶が法律で許されていることが疑う余地のない事実であることが証明できる情報が欲しいとお願ひしました。この電話の四日後、欲しかった情報が送られてきました。

次の社会の授業の一時間前、私は先生の生を訪ねてその情報を見せました。彼はそれを見て、その事実を素直に受け入れてくれました。先生は大変協力的で、私に最高裁の判決についてクラス全体に話す機会を与えてくれました。私が話し始める前に、先生は、妊娠九ヶ月の中絶の合法性について先週自分が言ったことは間違いだったと前置きしました。ともうれいことでした。私は短いレクチャーをした後、中絶に関する記事や絵をクラスに回して、みんなに見てもらいました。社会的に大きな問題となっている戦いのほんの一部にすぎない戦いでしたが、勝利には違いありません。真実を伝えることが出来ました。

トリシャ・レニー・ルンド

### 【プロ・ライフニュース】

[101] 1部ご注文.....無料..... + 郵送料

### 【カラー・パンフレット】

- [201] 生か死..... + 郵送料
- [202] 第二の処女生..... + 郵送料
- [203] デート..... + 郵送料
- [204] どうするの?..... + 郵送料
- [205] "NO"という技術..... + 郵送料
- [206] ティーンの出産コントロール..... + 郵送料
- [207] バージンの瀬戸際..... + 郵送料
- [208] していましたか..... + 郵送料
- [209] 親権限と「10代の性」..... + 郵送料
- [210] 貞節のすすめ..... + 郵送料
- [211] 中絶行為は女性を解放しない..... + 郵送料

### 【ポケット・サイズ】

- [301] 若い生命「1セット=カード+人形」.....30円 + 郵送料
- [303] 国際プロ・ライフ・シンボル・ピン.....200円 + 郵送料
- [304] 国際プロ・ライフ・ネックレス.....500円 + 郵送料
- [305] 胎児の人権宣言カード.....30枚=100円 + 郵送料
- [306] ミニソフィアAce エース(税別).....7980円 + 郵送料

### 【ビデオ+ 本・日本語】

- [401] 沈黙の叫び...(VHS/Beta).....7000 + 郵送料
- [403] ビリングス・メソッド...(VHS/Beta)....7000 + 郵送料
- [404] いのちーおくりもの.....(VHS).....13000 + 郵送料
- [407] 命美しいもの = one&only.....(VHS).....20000 + 郵送料
- [409] 聞こえる?天使の鼓動.....(VHS).....6000 + 郵送料
- [410] ビル先進国・英国からの警告...(VHS)...15000 + 郵送料
- [411] (コース・セミナー) **エイズ時代の性倫理...(VHS)...**3800 + 郵送料
- [500] (本) 生命問題に関する...(カトリックの教え)...2987 + 郵送料
- [501] (本) 自然な家族計画...(ビリングス・メソッド)...1000 + 郵送料
- [503] (本) プロ・ライフの旅.....300 + 郵送料
- [504] (本) 小さな鼓動のメッセージ.....1200 + 郵送料
- [505] (本) いのちをみつめて.....500 + 郵送料
- [506] (本) 命あるすべてのものに(マザー・テレサ).....660 + 郵送料
- [507] (本) 私の生命を奪わないで.....2300 + 郵送料
- [508] (本) いのちの福音.....1500 + 郵送料
- [509] (本) 小さき生命のために.....1300 + 郵送料
- [511] (本) **赤ちゃん:最初の十ヶ月...12ページ...100** + 郵送料
- [512] 本 日本プロ・ライフ・ムーブメントについて.....300 + 郵送料
- [513] 本 カトリック教会と日本プロ・ライフ・ムーブメント.....500 + 郵送料
- [514] 本 神様は中絶をどのように言っておられるでしょう.....300 + 郵送料
- [515] (本) **経口避妊薬:ピル.....100** + 郵送料
- [516] (本) いのちの福音と教育.....1470 + 郵送料
- [517] (本) **フマネ・ヴィテ.....300** + 郵送料

### [511] 赤ちゃん:最初の十ヶ月の旅

### [515] 経口避妊薬:ピル

注文:	1 - - - - - 5	1部 = ¥ 100
	6 - - - - - 20	1部 = ¥ 75
フルカラー	21 - - - 999	1部 = ¥ 50
	1000 - - 以上	1部 = ¥ 35

(本) <b>フマネ・ヴィテ</b>	パンフレット押し込み	は組み合わせ
1 ~ ~ 30	1部 = 250円	1 ~ ~ 5 1部 = 35円
31 ~ ~ 100	1部 = 200円	6 ~ ~ 100 1部 = 25円
101 ~ ~ 以上	1部 = 150円	101 ~ ~ 500 1部 = 20円
		501 ~ ~ 以上 1部 = 15円

性教育の材料として、学校、教会、家族、産婦人科

# 十代の性

(14)

質問：何かの記事で、同性愛は生まれつきの嗜好だという調査を読みました。遺伝子でその人の性的嗜好や行動を決定づけられているとしたら、その人の同性愛行為を責めることができますか？



答え：記事を鵜呑みにしてはいけません。思想を左右して、自分たちの行動を正当化したがる同性愛者の一派や人々がいるからです。本当に問題なのは「人間の

遺伝子がその人の行動をある程度左右するのか、それともその人自身が選択しているのか」ということです。

下等動物の大半は、本能で動いているのに対し、上級動物は学習しながら生きています。例えば、クモは虫を捕まえるために糸を張ることを、ライオンは獲物に忍び寄ることを、ほんの子どもの頃から遊びと同じような感覚で身につけています。動物世界の上奏部にいくほど遺伝子・本能・自然に直結した行動は減少します。ならば、自由な意志をもつ人間が、どうして自分の行動を決定できないのでしょうか？ 自分がしたくないことは選ばないし、自分がしたいことをせざることもないはずで

す。異性愛者が異性に惹かれる際、時には自らセーブすべき必要すらあるかもしれません。同様に、同性愛者は自分の欲望が行動を制約していないかを見極めることが必要です。

# 代理

日本では不妊に悩むカップルは約30万カップルいると言われています。この数は、母体保護法による平成11年の中絶件数(337,314件)に近いものです。

先日、五月十八日、日本初の代理出産がおこなわれたことが明らかになりました。その手術をおこなった根津八紘医師が不妊女性にとつての最後の切り札となる代理出産で光明を残してあげたいという気持ちから、法的には認められていないことを行ったこと、今まで、五例行って、四例は失敗、今春一例のみ誕生まで漕ぎ着けたことを話されて

いました。私達が代理出産と言う言葉を使う時、二つのことが考えられます。一つは今回のように『借り腹』と言われるもので、夫婦の精子と卵子を体外受精させ、他の女性(今回は



妹)の子宮にその受精卵を戻す方法と、もう一つは、不妊症の妻にかわって、主人の精子とその第三者の女性の卵子との受精卵がその第三者の女性の子宮で育てて行く『代理母』といわれるものです。

根津医師は、『代理母』の方法による出産は行わないが、『借り腹』による代理出産はこれから行うと話されています。

その代理出産を行うならば、次のようないくつかの問題点をクリアしなければならぬでしょう。まず、代理出産は女性の体を生殖の道具としていないでしょうか。医学的に子どもが産めない女性のみではなく、将来、仕事が忙しいからとか、自分の体の線を崩したくないから等と言う理由だけのために出産を嫌い、お金を支払うことだけすれば、子どもと暮らせるなら...という

# 出産

女性が出て来るのではないかという心配があります。

次に、親権をめぐるトラブルが発生するのではないかという心配もあります。母性は生まれてから育ちはじめるのではなく、すでに妊娠期間中に母と子の絆が始まり、女性に母性が育つと言われていきます。今回根津医師は、インフォームド・コンセントで妹さんに生まれてきた子どもに愛情が移って取ってしまったのはダメだよと誓約書を書かせてそのことを守つたらしいのですが、今回のように姉妹間の場合には上手く行くとしても、親族以外のもの同志になった場合はたして上手く行くのでしょうか。これは母性が育つため第三者の女性が子どもとの親権を望み出す可能性のことも考えられます。代理出産

# 日本プロ・ライフ・ムーブメント事務所

〒780-0062 高知市新本町一丁目7-31

電話/Fax 088-873-3619

e-mail: prolife@i-kochi.or.jp

For English Speaking People /evening: Tel/Fax: 088-843-0406 Email: nvt56n@ps.inforiyoma.or.jp

## 会員募集

寄付: 十万円 五万円 三万円

一万円 五千円 一千円

無料: 毎月プロ・ライフ・ニュースレター

あなたの寄付はまだ生まれていない赤ちゃんを守る運動のため使用させて頂いております。私たちと一緒に小さい命を大切に育みましょう。

## 事務所時間:

月	金	10:00 - 17:00
土	曜	日
日	曜	日

## 御送金

銀行: 四国銀行朝倉支店  
口座番号: 0573553  
日本プロ・ライフ・ムーブメント

郵便局: 「郵便振替」  
現在口座番号: 01660-5-39607  
日本プロ・ライフ・ムーブメント

## 事務所便り

皆様お元気でお過ごしでしょうか。毎年7月号の一面に胎児の人権宣言を著しています。そこでも述べているように、日本では7月13日が生命尊重の日となっています。一九九一年四月に東京で国際会議が開かれ、オスロから考えてきた胎児の人権宣言が、東京で完成しました。それが一面の宣言です。

7月13日は優生保護法(現、母体保護法)が施行された日です。合法的な中絶により、いのちを奪つことになりはじめた日を覚えて、小さいいのちをも大切にしましょうという心を持って、この日を日本の生命尊重の日としています。

優生保護法は母体保護法と名前を変え、障害者と言う理由で、中絶は出来なくなりましたが、実際は何も変わっていません。障害者の中絶は『母体の健康のため』の理由の中に入ったようです。それは母体の健康のための中絶が99%を占めている事に表されています。

「ヒューマンサイエンス振興財団(厚生労働省認可団体)が行ったアンケート結果によると、回答した百二十九人の医師のうち、出生前診断に四割が否定的でした(高知新聞 4月24日)。その診断をすることで、その子どもの病気を早期に治療するためなら素晴らしいことですが、障害を見つけて中絶するためなら、とんでもないことではないでしょうか。

また、アメリカで3人の遺伝子を持つ赤ちゃんが30人誕生して、一番上の子どもはもう4才になると出ていました。不妊女性の卵子に体外受精をする際、夫の精子だけでなく、別の女性の卵子の細胞質を注入する方法で誕生した子どもが、両親の遺伝子に加えて、細胞質を提供した女性からの遺伝子も一部受け継いでいることが判明したものです(読売・高知新聞 5月6日)。

日本プロ・ライフ・ムーブメント

(7ページから)

を望んでいた女性が、その子どもを望まなくなつた場合です。例えば、子どもを望んでいたその夫婦が離婚してしまつたとか、生まれてきたその子が障害者だつたとか等の場合です。(自分のお腹を痛めた子どもは例え障害を持って生まれてきても、妊娠期間中に育つた母性はその子を愛おしく感じさせてくれるものです。が、代理出産で生まれた障害を持つ子どもへの母親の気持ちはどのようになるでしょうか。)このようにして生まれた子どもは欲しいとか要らないと言われ、子どもと言つよりも、まるで、物のように扱われることになってしまふ危険性があります。

最後の問題点は、一番大切な子ども自身の問題です。代理出産で生まれた子どもはまず第三者の女性の戸籍に入籍されます。それから、養子縁組の形をとつて、代理出産を望んだ夫婦の戸籍に入ることになります。その子どもは大きくなるに従つて、自分の出生の秘密を必ず知るようにするでしょう。その時の子どものメンタルケアを十分出来るでしょうか。

代理出産がビジネスとなつてアメリカとはちがって、イギリスは高額な謝礼をしない条件で認めています。一方、ドイツやフランス等では禁止で、日本でも昨年の12月代理出産禁止の報告書をまとめたばかりです。医師達には生殖医療を果てしなく進めて行きたい気持ちばかりが募ることでしょうが、医療専門家だけの議論ではなく、他の多くの人々の倫理面での議論は是非必要なことだと思つていきます。(大岡 滋子)

## 安楽死に対する一考察

安楽死について最も悪いことは、一個人または一集団の人々が、自分たちに他人を殺す権利があると思つていることなのです。「人間を殺す」ということはあまり良い発想ではありません。だから、安楽死をもつと受け入れやすくするために、言葉遊びを始める人々がいます。例えば、彼らは、不治の病にかかっている人、または昏睡状態にある人は「植物人間」だといふのです。人間は野菜ですか? キウウリですか? ニンジンですか?

どのような病にかかつていても、人間はいつでも人間なのであり、誰も、どのような哲学的、政治的、宗教的考えも決して取り去ることのできないのちに対する権利があるのです。実際、生命が衰弱や病気に苦しんでいるまさにその時こそ、それだけ私達のケアの必要があるのです。「彼は重荷ではない。彼は私の兄弟だ。」という歌を覚えていますが、安楽死の支持者は、病気の人を自分の兄弟とは見ず、ただの重荷としか見ていないのです。神よ、彼らを許しなさい。

あなたはどうかお考えでしょうか。

フランク・ベイボーン